

令和 9 年度

第 2 年次編入学試験 第 3 次 学生募集要項



本学では、インターネット出願を導入しています。

冊子による学生募集要項の配付は行いませんので、本学入試情報サイト
(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>) から閲覧又はダウンロードしてください。

令和 9 年 4 月入学者用の学生募集要項です

愛知教育大学

目 次

各ポリシーの紹介	1
令和9年度 編入学試験（第3次）日程	4
1. 趣旨	5
2. 募集人員（第3次）	5
3. 各専修が望む学生像	6
4. 出願資格	8
5. 編入学の時期及び年次，在学期間等	8
6. 出願期間	8
7. 出願書類	8
8. 出願手続	10
9. 受験票及び受験案内のダウンロード，印刷	12
10. 入学者選抜方法	12
11. 不正行為について	13
12. 障害のある入学志願者との事前相談	14
13. 合格者発表	14
14. 入学手続	14
15. 卒業及び教育職員免許状取得までの履修に関する留意事項	15
16. 免許教科の決定について	16
17. 学生寮への入寮について	17
18. 教育・学習データ利活用について	17
19. 個人情報の取り扱いについて	17
20. 入学試験個人成績の開示	17
21. 安全保障輸出管理について	17
22. 「こども性暴力防止法」に関する対応について	18

※本文内容等に変更が出た場合は，本学 Web サイトにて公表しますので，ご確認ください。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は，「入試過去問題活用宣言」に参加しており，アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし，必ず使用するとは限りません。

詳細は，「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら，本学入試課へお問い合わせください。

卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的役割を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

そこで、規定の年限在学し、以下のような資質・能力を身に付けるとともに、所定の単位を取得した人に学士（教育学）の学位を授与します。

◆学校教員養成課程

- 1 学校教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力
 - 1-1 子どもの個性を尊重し、一人一人に寄り添い学びを支援する力
 - 1-2 学校教育の意義や今日的な課題を理解し、先端技術を効果的に活用しながら、子どもの豊かな学びの実現に向けて実践する力
 - 1-3 学校安全と多様な子どもに対応できる基礎的な知識を身に付け、適切に学級経営を行う力
- 2 同僚、保護者や地域社会等と連携し協働する態度
- 3 自己を振り返り、絶えず向上心を持って学び続ける姿勢
- 4
 - ・幼児教育専攻では、子どもの発達過程を理解し、一人一人に応じた教育・保育を適切に行う力
 - ・義務教育専攻では、子ども理解に基づく生活指導や生徒指導、学級経営と、綿密な教材研究に基づく的確な学習指導を適切に行う力
 - ・高等学校教育専攻では、専門的な資質・能力を身に付け、教科の指導や学習方法の開発を行う力
 - ・特別支援教育専攻では、多様な障害のある子どもの状態と教育的ニーズを把握し、生活指導や学習指導、自立活動等の指導及び支援を適切に行う力
 - ・養護教育専攻では、学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理を適切に行い、子どもの発育・発達の支援に向けてコーディネートする力

教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的役割を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

この使命を達成し、ディプロマ・ポリシーに基づいた学生を育成するために、以下の科目等で教育課程を編成・実施し、授業目標への到達度で成績評価を行うとともに、セメスター毎の評価を学修ポートフォリオに蓄積することにより、学生が学びの履歴を確認できる機会を提供します。

- 1 大学での学びの入り口として、深い教養を身に付ける必要感や目指す職業人の魅力や社会的意義を認識し、主体的な問題発見及び問題解決能力を育成するための基礎教養科目
 - 1-1 多様な学修歴を有する入学者に対応できるように、大学生活や社会に出る準備段階としての学修意欲を高め、学習規律を身に付ける【初年次演習】や【キャリアデザイン科目】を設定します。
 - 1-2 学校現場で求められている「課題を発見する力」「情報を読み取る力」「複眼的に物事を捉える力」「他者と協働する力」「解決に導く力」等の主体的な問題発見及び問題解決能力や能動的な学修活動能力を育成する【課題探究科目】を設定します。
- 2 教職及び教育を支える専門職に必要な資質・能力の基礎を育成するための教育実践教養科目
 - 2-1 教育実践を支える職業人の役割について考えるとともに、新しい持続可能な社会に向けた、ユニバーサルデザインの学校教育の基盤について、多面的に捉えて理解する【教職教養科目】を設定します。
 - 2-2 学校現場で対応の要望が高まる外国人児童生徒支援教育、学校安全等を題材に、新しい教育の機会均等やマネジメントの在り方について探る【現代的教育課題対応科目】を設定します。
 - 2-3 子どもの生活実態を知り、子どもとのコミュニケーション能力を養い、感性を磨くなど、教育実践を支えるための実践力を高めることを目的に、附属学校や国内外の連携協力校、地域社会等の協力を得て実施する【実践力育成科目】を設定します。
- 3 各課程において教職又は教育支援専門職としてのキャリアの形成及びその専門性を高めるための専修科目
 - 3-1 学校教員養成課程では、教職の基礎となる理論や指導実践に関わる知識と経験を修得する教職課程対応科目群からなる【専攻基礎科目】と、専門領域の精深な知識を修得して教職に求められる学識と能力を培う【専攻科目】を設定します。

- 3-2 教育支援専門職養成課程では、学校教育とそれを支える分野の基礎的な理論と実践に関わる知識と経験を修得する【教育学基礎科目】【教育支援科目】と、専門領域の精深な知識を修得して各専門職に求められる学識と能力を培う【専攻科目】を設定します。
- 3-3 各課程の専攻基礎科目、教育学基礎科目、教育支援科目及び専攻科目で修得・形成した知識、経験、学識、能力を統合・発展させ、課程、専攻、専修、コース等の専門分野を超えた学び合いを通して、自律的に専門性を高める【未来共創科目】を設定します。
- 4 大学での学びと実践を結び付ける、往還的学修のための実習科目
- 4-1 学校教員養成課程では、3年次以降に実践的な模擬指導演習や学校現場での教育実習で、身に付けた専門性を試行して学修の到達を振り返る場として【教育実践開発科目】を設定します。
- 4-2 教育支援専門職養成課程では、支援の実際を学び、知識と技術を統合する場として【心理実習】【社会福祉実習】【学校・自治体インターンシップ】等を設定します。
- 5 大学での学びの集大成としての卒業研究
- 5-1 専門分野に関わり、自ら研究テーマを設定し、文献調査、実地調査、質問紙調査、実験、制作などを通して学術的に探究し、まとめ、発表する【卒業研究】を設定します。

入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

学校教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成を目的としています。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識・技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成を目的としています。

そこで、次のような人を求めています。

- 1 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- 2 確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- 3 創造力や探究心を持つ人
- 4 多様な考えや価値観を持つ人を認め、自らの考えを表現しながら協働できる人
- 5 学校と地域社会との関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

（入学者選抜の基本方針）

第2年次編入学試験では、学力検査（400点満点）として英語・数学・小論文（英語は筆記試験を実施せず、TOEFL又はTOEIC(L&R)のスコアを用いる。）と、口述試験（200点満点）の合計点（600点満点）により評価します。なお、教職志望理由書は、参考資料として用います。

◎知識・技能

学校教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力の習得に必要な確かな基礎学力を有しているかを、学力検査及び口述試験で評価します。口述試験の際、成績証明書を資料として用います。

◎思考力・判断力・表現力

問題を発見し解決するために求められる思考力・判断力・表現力の基礎が育まれているかを、学力検査及び口述試験で評価します。

◎意欲・関心・態度

学校教員として学校教育に携わる意欲のほか、子どもへの愛情と子どもの成長への関心と情熱、創造力・探究心を口述試験で評価します。口述試験の際、教職志望理由書を資料として用います。

◎主体性・協働性

主体性と協働性を口述試験で評価します。

本学への入学前に学習しておくことが期待される内容

本学では、教員や教育支援専門職の養成にあたり幅広い教養と基礎学力等を身に付けていることを求めています。そのため、本学に入学するまでに学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

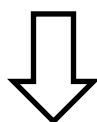
- ① 高等専門学校段階までの教育課程における基礎的・基本的な知識・技能と思考力
- ② 自らが専攻しようとする教科等に関わる基本的内容
- ③ 上記①②を通して、多面的・多角的なものごとをとらえ、論理的に思考・判断できるように幅広く学びを深め、探究する態度

なお、将来、学校教育に教員又は教育支援専門職として携わることを望む者として、高等専門学校段階での教育課程による学びだけでなく、自ら子どもとの交流経験を求めたり、学校教育及び教育に関わる諸問題への関心を深めたりするための主体的な学びや活動を通して、多様な価値観や考えを持つ人々とコミュニケーションする力や、自らの考えを深めてそれを表現する力を身に付けておくことを望みます。

令和9年度 編入学試験（第3次）日程

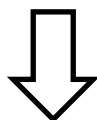
出願サイトでの出願登録期間

令和9年1月1日（金）～1月13日（水）



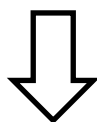
出 願 期 間

令和9年1月8日（金）～1月14日（木）



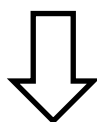
試 験 期 日

令和9年2月6日（土）



合 格 発 表

令和9年3月1日（月）



入 学 手 続

～令和9年3月14日（日）

1. 趣旨

第2年次編入学試験は、本学における教育研究活動を活性化し、社会的ニーズに応えるために、教職に就くことに対する強い関心・意欲を有し、かつ高い専門性を有する高等専門学校卒業生を選抜することを目的とする。

2. 募集人員（第3次）

課 程 ・ 専 攻 ・ 専 修				募 集 人 員
学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	I C T 活 用 支 援 専 修		若 干 名
		教 科 指 導 系	算 数 ・ 数 学 専 修	
			理 科 専 修	
			~~ものづくり・技術専修~~	
	教 高 育 等 専 学 攻 校	開 教 発 科 系 学 習	数 学 専 修	
			理 科 専 修	

（注）

各専修の受け入れ数の上限は、義務教育専攻 ICT 活用支援専修 1 名，義務教育専攻算数・数学専修及び高等学校教育専攻数学専修で 2 名，義務教育専攻理科専修及び高等学校教育専攻理科専修で 4 名，義務教育専攻ものづくり・技術専修 0 名とします。

3. 各専修が望む学生像

アドミッション・ポリシーを踏まえ、各専修では、次のような学生の入学を望みます。

学校教員養成課程	義務教育専攻	ICT 活用支援専修		ICT や ICT を活用した教育に興味関心があり、物事を論理的に考えることができ、ICT を使って問題を解決したり物事を効率的に進めることに意欲をもつとともに、将来、情報モラル育成のための専門的知識や ICT を積極的にかつ有効的に教育に活用できる技術を身につけたいと考えており、卒業後は、学校で ICT の活用やプログラミングを教えたり、学校全体の情報化に中心的に貢献することを希望している者を望みます。
		教科指導系	算数・数学専修	算数・数学科およびその関連諸学科とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心を持ち、高等専門学校で学習する「1変数の微分積分」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な考え方・表現力等を身につけることに意欲的な者を望みます。算数・数学をよりわかりやすく教えたり、そのおもしろさや有用性を伝えられる教員をめざして、努力しようと志す者を望みます。
			理科専修	児童の身のまわりのものや現象に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、自然への敬愛や科学技術の素晴らしさを具体的に分かりやすく教えたり、その意義や有用性を伝えたりできる教員をめざして、努力しようと志している者を望みます。
			ものづくり・技術専修	ものづくりが好きで、科学技術や技術教育に関わる諸問題などに興味関心を持ち、科学技術に関する高等専門学校までの基礎的な数理的知識をもって受験することを期待します。入学後は、幅広い工学（木工・金工・電気・機械・情報）および農学の知識と技能を身につけて、将来教育現場において、これらの能力を生かそうとする者を望みます。
	高等学校教員教育専攻	教科学習開発系	数学専修	数学や数理科学全般、さらには、それらの学習を通じた生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心を持ち、高等専門学校で学習する「1変数の微分積分」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な思考力・表現力等の数理リテラシーを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			理科専修	理科や理科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。

○出願にあたっての参考事項

本学では、卒業要件に含める免許状取得のために必ず履修し単位を修得しなければならない授業があります。卒業要件に含める免許状やそのために必修となる授業は専攻により異なりますので、専攻を選ぶ際は下記の表を参考に、慎重に検討してください。

・取得できる免許一覧

専 攻	卒業要件に含める免許状 ※2	取得を優先して薦める免許状	所定の科目履修で可能とする免許状
義務教育専攻 ICT 活用支援専修	・ 小学校教諭一種免許状	・ 中学校教諭二種免許状 (選択教科) ・ 特別支援学校教諭二種免許状※1	・ 中学校教諭一種免許状 (中学校教諭二種の教科と同じ) ・ 高等学校教諭一種免許状(情報)※1 ・ 幼稚園教諭二種免許状※1
義務教育専攻 算数・数学専修 理科専修 ものづくり・技術専修	・ 小学校教諭一種免許状 ・ 中学校教諭二種免許状 (専修対応教科)	・ 中学校教諭一種免許状 (中学校教諭二種の教科と同じ)	・ 高等学校教諭一種免許状 (専修対応教科：ものづくり・技術 専修は「工業」) ・ 幼稚園教諭二種免許状※1 ・ 特別支援学校教諭二種免許状※1
高等学校教育専攻 数学専修 理科専修	・ 高等学校教諭一種免許状 (専修対応教科)	・ 中学校教諭一種免許状 (専修対応教科) ・ 特別支援学校教諭二種免許状※1	・ 高等学校教諭一種免許状(情報)※1

※1 いずれか一つを選択し取得を目指すことが可能です。

※2 参考：卒業要件に含める免許状を取得するために必修となる主な授業科目や単位の例（専攻・専修によって詳細は異なりますが、以下の科目や単位数は、卒業に当たって必ず履修することになります。中二種，高一種の中等教科内容科目についてのみ，一部高等専門学校で修得した科目を単位認定できる場合があります。）

○小学校教諭一種免許状の場合

初等教科内容科目：10 科目 10 単位，初等教科教育法科目：10 科目 20 単位，教職教養科目・教育科目：13 科目 23 単位

※この他，小学校での 3 週間の教育実習などがあります

○中学校教諭二種免許状の場合

中等教科内容科目：8～12 科目 12 単位（教科によって科目数は異なる。），中等教科教育法科目：1 科目 2 単位，教職教養科目・教育科目：13 科目 23 単位（小一種と共通）

※この他，中学校での 2 週間の教育実習などがあります。また，中学校教諭一種免許状を取得する場合，これ以外に修得が必要な科目及び単位数があります。

○高等学校教諭一種免許状の場合

中等教科内容科目：12 科目 20 単位，中等教科教育法科目：4 科目 8 単位，教職教養科目・教育科目：13 科目 23 単位

※この他，中学校・高等学校での 3 週間の教育実習などがあります。

4. 出願資格

第2年次編入学試験に出願できる者は、高等専門学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者としします。

5. 編入学の時期及び年次、在学期間等

編入学の時期は令和9年4月とし、第2年次に編入されるものとしします。

本学教育学部の修業年限（4年）のうち、1年間をすでに在学したものとして通算するので、編入学後の標準修業年限は3年となります。**ただし、入学後の履修計画等によっては、卒業に3年間を超える期間の在学を必要とする場合があります。**

なお、編入学した学生の在学期間は、編入後7年を超えることはできません。

6. 出願期間

令和9年1月8日（金）から1月14日（木） 17時 まで

出願書類の提出は郵送（簡易書留速達）に限ります。1月14日（木）17時までに入試課に必着となるよう送付すること。出願期間を過ぎた場合には受理しませんので、郵便事情を考慮し、早めに郵送してください。ただし、1月12日（火）付までの郵便局受付印がある「簡易書留速達」に限り、出願期間後に到着したものでも受理します。

7. 出願書類

下記の(1)～(2)の書類を出願期間内に提出してください。受理した出願書類は返還しません。

(1)出願サイトから印刷し、提出するもの

提出書類等		記入者	摘 要
1	入学志願票	出 願 者	出願内容等に間違いがないか確認し、出願サイト登録後にカラー印刷してください。 (注) 出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、出願サイトからアップロードしてください。
2	宛名シート 及び 出願書類 チェックリスト	出 願 者	出願封筒（角形2号）用に貼り付ける宛名シート及び出願書類チェックリストを出願サイトからカラー印刷し、封筒に貼り付けてください。

(2) 所属する高等専門学校及び志願者が準備するもの

本学所定の様式については、本学入試情報サイト(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/index.html>)からダウンロードし、志願者本人が記入の上、提出してください。

提出書類等		記入者	摘 要
3	卒業（見込）証明書	学 校 長	原本に限ります。
4	成 績 証 明 書	学 校 長	原本に限ります。出身学校の校長が作成し、厳封されたものを提出してください。ただし、複写防止用紙で作成された成績証明書（成績は見込みを含む）は厳封の必要はありません。
5	教職志望理由書	出 願 者	【本学所定様式】 本学で教職を目指す理由を 600 字以内で記入してください。志望理由等については、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）を参照し、皆さん自身の考えで作成してください。
6	英語の成績認定 証明書 【対象となるテスト】 ・ TOEFL-iBT テスト ・ TOEFL-ITP テスト ・ TOEIC L&R テスト ・ TOEIC L&R IP テスト	-	本入学試験実施日から過去 5 年以内に実施した、対象となるテストのスコア証明書を提出してください。 ただし、オンライン受験によるスコアは認められません。 ※デジタル公式認定証以外の提出は原本に限ります。デジタル公式認定証での提出は、出願期間中に本学へのスコア提出が必要になります。 【デジタル公式認定証を使用する場合】 1. TOEIC 申込サイト https://ms.toeic.or.jp/Usr/Pages/Entry/Login.aspx より、スコアを提出してください。 申請コード：00034501 名 称：愛知教育大学入試課 ・手続き詳細 https://www.iibc-global.org/toeic/test/lr/guide04/score2.html 2. 本学でオンライン上のスコアデータを確認することができた時点で、スコアの受理となります。 3. 出願書類を提出する際、「デジタル公式認定証（TOEIC 申込サイトよりダウンロード可能な PDF）」を印刷し、出願書類と合わせて出願期日までに提出してください。 【デジタル公式認定証が発行できない場合】 公式認定証（原本）を提出してください。 TOEFL-iBT テストの Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report (受験者用控えスコア) TOEFL-ITP テストの Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report (受験者用控えスコア) TOEIC Listening & Reading テストの Official Score Certificate(公式認定証又はデジタル公式認定証) TOEIC Listening & Reading IP テストのスコアレポート

8. 出願手続

本学は出願システム Post@net（ポスタネット）を利用しています。

出願手続は出願登録期間に①出願登録、②検定料の支払い、③出願書類を郵送し、本学に到着することによって完了します。（①②③のいずれかが行われなかった場合は、出願が受け付けられません。）

【出願サイト登録及び入学検定料支払期間】は以下のとおりです。（出願受付期間前から出願情報の登録及び検定料の支払いが可能です。）

【出願サイト登録期間】	令和9年1月1日（金）9時 から 1月13日（水）17時00分まで
【入学検定料支払い期間】	令和9年1月1日（金）9時 から 1月13日（水）23時59分まで

出願の流れ

1. 事前準備

学生募集要項を確認し、成績証明書、証明写真データ等の必要書類を準備してください。

2. アカウント作成

出願サイトでの登録には Post@net でのアカウント登録が必要です。

画面の手順に従い、必要事項を入力して登録を行います。Post@net へのリンクは、本学入試情報サイト (<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/>) に掲載しています。

3. 出願サイト登録

トップページの「学校一覧」から「愛知教育大学」を検索してください。

「【初回】出願」ボタンをクリック後、手順や留意事項を確認し、画面に従って必要事項を入力してください。

4. 検定料の支払い

検定料の支払い方法を選択し、支払い期限までに入学検定料 30,000 円（別途、支払手数料がかかります。）を支払います。

入学検定料の支払いは下記のいずれかの方法で行ってください。

①クレジットカード ②コンビニエンスストア ③金融機関 ATM（ペイジー）

支払い方法の選択後に表示された支払い情報は、支払いの際に必要な番号です。必ず画面を印刷、又はメモしてください。なお、検定料の支払い後は、登録内容の変更はできませんので、注意してください。

5. 入学志願票と宛名シートの印刷

検定料の支払い後に届く「インターネット出願 支払完了」のメールに記載の URL、又は出願サイト内「出願内容一覧」の「出願内容の確認」から、入学志願票と宛名シート及びチェックリストがダウンロードできるようになります。

6. 必要書類の郵送

宛名シート及びチェックリストをカラー印刷してください。出願書類が全て揃っているか、チェックリストにて確認してください。市販の角形 2 号封筒の表面に宛名シート、裏面にチェックリストを貼り付けてください。必要書類一式

を封入し、簡易書留速達で郵送してください。出願書類等の提出は郵送に限ります。

「出願内容一覧」で確認できる証明写真に「承認待ち」と表示される場合があります。出願書類の送付にあたり、証明写真の「承認」をお待ちいただく必要はありません。準備が整い次第、出願書類を郵送してください。

■出願サイトに関する問い合わせ先（開設期間：インターネット出願登録期間中の平日 9：00～17：00）

出願サポート窓口 TEL 075-341-8670

■入学試験に関する問い合わせ

愛知教育大学入試課学部入試係 TEL 0566-26-2202

出願にあたっての留意事項

- ア 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- イ 出願書類等のうち、一つでも不備がある場合は願書を受理しませんので、郵送する前に、すべての書類等がそろっているか必ず確認してください。
- ウ 検定料の支払い後は、志望内容の変更には一切応じません。
また、払い込まれた検定料は次の場合を除き返還しません。
 - ① 出願書類を提出しなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
 - ③ 出願書類等に不備があり、受理されなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)

* 検定料の返還請求方法

志願者の申し出により返還しますので、（ア）、（イ）の書類を郵送してください。

（令和9年2月5日（金）まで）

（ア）入学検定料の支払いを証明する書類（領収書等）

（イ）「入学検定料返還請求書」（便せん等に次の1～7を明記してください。）

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分（編入学）
- 3 氏名（フリガナ）
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額（30,000 円）
- 7 返還金振込先
 - 1)金融機関名（可能な限り、郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関）
 - 2)支店名 3)預金種別(当座・普通) 4)口座番号
 - 5)口座名義人（フリガナ） 6)口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

郵送先 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 TEL0566-26-2202

返還時期は、令和9年4月(請求時期により異なります)以降を予定しております。

また、大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は、入学検定料が免除になることがありますので、入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに本学入試情報サイト「入学検定料の免除について」（<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/student-life/support.html>）を確認の上、申請してください。

■入学試験に関する問い合わせ

愛知教育大学入試課学部入試係 TEL 0566-26-2202

9. 受験票及び受験案内のダウンロード、印刷

受験票及び受験案内は、令和9年2月1日（月）頃からダウンロード及び印刷が可能となります。出願サイトから受験票をダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

また、受験案内は受験票に記載の二次元コード又は URL より確認できます。受験案内には受験上の注意事項（集合時間や場所等）が記載されていますので、ダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

10. 入学者選抜方法

- (1) 選抜は、学力検査 400 点と口述試験 200 点の計 600 点で行います。配点、出題範囲は以下のとおりです。
- (2) 最低基準点は、学力検査、口述試験のそれぞれ 50%とし、これに満たない場合は不合格とします。
- (3) (2)で不合格となった者を除き、総得点の高得点順位の者から合格者とします。
- (4) 英語は学力検査を実施せず、TOEFL 又は TOEIC(L&R)のスコアで評価します。(5 年以内のスコアを対象とし、TOEFL ITP、TOEIC(L&R) IP のスコアも可とします。ただし、オンライン受験によるスコアは不可。)

ア 学力検査等の配点

課 程 ・ 専 攻 ・ 専 修				配			点		
				学力検査			口述試験	計	
				英語	数学	小論文			
学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	ICT 活用支援専修		100	200	100	200	600	
		教科指導系	算 数 ・ 数 学 専 修						
			理 科 専 修						
			ものづくり・技術専修						
	高 等 学 校 教 育 専 攻	開 発 系 教 科 学 習	数 学 専 修						
			理 科 専 修						

イ 出題範囲

- (ア) 数学の出題範囲は、以下のとおりです。
- ・微分積分 1.微分 2.積分 3.関数の展開 4.偏微分(2変数)
 5.重積分(2変数) (微分方程式は範囲としない)
 - ・線形代数 1.ベクトル 2.行列と行列式 3.線形変換
 4.固有値とその応用 (ベクトル空間は範囲としない)
- (イ) 小論文は、全専修で共通の問題を課します。
- (ウ) 口述試験は、複数の教員により集団で行い、教科に関する内容及び教職への意欲・適性などを総合的に判断します。

(5) 試験日程は次のとおりです。

試験期日		令和9年2月6日(土)
試験時間	数学	9時30分～11時00分
	小論文	11時30分～12時30分
	口述試験	13時15分～
試験場		愛知教育大学

※試験の実施場所等については、受験案内により別途通知します。

11. 不正行為について

- 1 以下のことを行くと不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア 受験票や解答用紙等に故意に虚偽の記入をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- エ 配布された問題冊子や資料等を、許可なく試験室から持ち出すこと。
- オ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたこと。
- カ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を許可なく使用すること。
- キ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- （なお、イヤホンについては耳に装着していれば、使用しているものとみなします。）
- ク 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- 2 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記1と同様です。

- ア 試験時間中に持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）及びスマートフォン等の電子機器類、教科書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム、振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12. 障害のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者若しくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに必ず本学と相談してください。本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

相談内容によっては、対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。この事前相談により、合否判定の際に不利になることはありません。

(1)相談締切日 令和8年12月18日（金）

(2)相談申込み方法

「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みしてください。

（本学指定様式によるものとします。様式については、下記問い合わせ先に連絡の上、請求してください。）

(3)提出書類

ア 入学試験受験上の配慮申請書（本学指定様式）

イ 医師の診断書（コピー可）

(4)問い合わせ先

愛知教育大学 入試課 TEL 0566-26-2202

13. 合格者発表

(1) 令和9年3月1日（月）10：00以降、出願サイトから合否結果の照会ができます。

出願サイトにログイン後、「出願内容一覧」から、「出願内容を確認」を選択し、「合否結果照会」で確認してください。また、合格者は、出願サイトから合格通知書や必要な書類のダウンロードができます。

(2) 電話その他による合否の照会には一切応じません。

14. 入学手続

入学手続の詳細は、合格者にご案内する「入学手続要項」をご覧ください。

(1)入学手続締切日

令和9年3月14日（日） 16：00まで

入学手続期間内に入学手続を完了していない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2)入学料等納入金

入 学 料	282,000 円
入学時諸費用 *1	53,620 円
前期分授業料	267,900 円
後期分授業料	267,900 円

入学料及び入学時諸費用については、必ず納入していただきます。また、授業料の納入については、4月以降に行っていただきますので、その納入方法は**合格者のみにご案内する「入学手続要項」**において指示します（入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料、新入学時諸費用及び新授業料を適用します）。

*1 入学時諸費用は、通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料（3年間分）、教育研究経費、大学行事、就職、課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で、入学時のみの費用です。

また、本学では、すべての学部学生に「教材用パソコン（インターネットに接続できるノートパソコン）」を用意していただくことになっていきますのでご承知おきください。教材用パソコンの詳細については入学手続後にお知らせします。（本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが、仕様を満たすものであれば、他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ちいただくこともできます。）

○納入方法

入学料及び入学時諸費用については、合格者の方にご案内する入学手続要項に従って納入してください。

(3)留意事項

ア 入学手続完了者で高等専門学校を卒業できない場合は、入学許可を取り消します。

イ 入学手続完了後、入学を辞退する場合は、**令和9年3月31日（水）15時まで**に本学入試課（0566-26-2202）へ連絡のうえ、入学辞退届（様式は任意）を提出してください

ウ 入学手続完了後に本学への入学を辞退する場合、納入済の入学料はいかなる理由があっても返還いたしません。

エ 免除又は徴収猶予申請者が入学手続完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は、「免除等申請を辞退」したものとなりますので、直ちに入学料を納入していただきます。

オ 入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学 Web サイトを参照してください。

https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/menjo_nyugaku.html

入学手続に関するお問い合わせ先

学生支援課

TEL 0566-26-2173

15. 卒業及び教育職員免許状取得までの履修に関する留意事項

入学後は、原則として3年間で卒業要件を満たすよう履修していきますが、入学前に高等専門学校において修得した単位の一部を、大学で修得した単位として認定する制度があり、大学において審査の上で認定された単位を除く分を履修します。

単位の認定に当たっては、成績表又は単位修得証明書等（高等専門学校における修得科目及び修得見込み科目が分かるもの）を提出いただく必要がありますので、入学手続の際等に別途連絡します。

なお、認定状況は、高等専門学校での所属学科や本学での所属専修等に応じて個人差があり、場合によっては、3年間で卒業要件や教員免許状の取得要件を満たすことが難しい場合もあることを御承知おきください。

16. 免許教科の決定について

ICT 活用支援専修の志願者対象

・免許教科について

義務教育専攻 ICT 活用支援専修においては，1 科目の中学校教員免許状（二種若しくは一種）を取得することができます。この教科を「免許教科」と呼び，入学前に希望教科を選択していただく必要があります。

なお，免許教科は，入学手続時に行う意向調査に基づき，大学が決定します。できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行いますが，特定の教科に希望が集中することなどにより，必ずしも第1希望の教科を履修できない場合も考えられることをご承知おきください。

また，免許教科の決定後は，いかなる理由があっても，変更は一切認められません。

決定した免許教科の専門教育科目の授業では，当該教科について知識や能力の高い該当専修の学生とともに学ぶことになることから，以下に，各免許教科に関する学修に当たっての要望やアドバイスを提示しますので，入学手続時の意向調査の際には，慎重に免許教科を選択することを求めます。

専修	免許教科	数 学	理 科	技 術
	ICT 活用支援専修	○	○	○

（参考・教科を選択するに当たっての留意点）

	教科を選択するに当たっての要望・アドバイス（例：高等学校などにおいて身に付けておくことが望ましい素養や，こうしたレベルの学修が求められるといった目安など。）
数学	数学専攻科目の授業は「数学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，A，B」を履修済みであることを前提に行われます。それらの科目の未履修者に対する補習授業は行っていないので，未履修の人は自学自習の必要があります。例えば，「数学Ⅲ」を未履修の人は，大学の授業とは別に 175 時間（注）を目安とする自学自習が望まれます。 （注）「数学Ⅲ」は 5 単位の科目で，1 単位あたり 35 単位時間の学習時間量が必要であることが学習指導要領に示されています。
理科	自然科学に幅広く関心を持ち，自然科学のどの分野の学習に対しても粘り強く取り組んでください。また，高等学校の理科教科書の章末問題を解くなど，入学前にしっかりと復習をしておいてください。
技術	ものづくりと技術に関わる木工・金工・栽培・機械・電気・情報の各分野に広く関心を持ち，実習を含め根気よく意欲的に学びに取り組むこと。

17. 学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、合格者にご案内する入学手続要項を確認の上、申込みを行ってください。

学生寮についての詳細は、下記の愛知教育大学 Web サイトを参照してください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>

学生寮に関するお問い合わせ先	学生支援課 学生寮担当 TEL0566-26-2187
----------------	-----------------------------

18. 教育・学習データ利活用について

本学では、「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、日々の教育や学習に関するデータを取得し、そのデータを安全な方法で保持・分析を行い、客観的データに基づいて教育改善や学生等の学習支援を図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元することに取り組んでいます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データとして取り扱います。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/708.html>

19. 個人情報の取り扱いについて

- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」等本学の関係規定に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ② 本学では、出願時に提出された個人情報（住所・氏名・生年月日等）及び入学試験成績情報は、入学者選抜に関する業務、入学後の奨学制度申請、修学支援業務及びこれらに付随する業務並びに「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」に基づくデータに利用します
- ③ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に合否及び入学手続等に関する情報を提供します。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/82.html>

20. 入学試験個人成績の開示

合格者発表後、第 2 年次編入学試験の個人成績（総合点）を出願サイトにて開示します。

21. 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

愛知教育大学規程集 <https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/586.html> より

第 10 章 研究連携・研究支援＞国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

22. 「こども性暴力防止法」に関する対応について

令和 8 年 1 2 月 2 5 日から、「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」がスタートし、18 歳未満の児童等に対して教育・保育などを行う学校、保育所、学習塾などの事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められています。

大学における教育においても、教育実習、学校体験活動といった授業やクラブ・サークル、ボランティアといった課外活動など、学生がこどもと接する活動（以下「実習等」という。）の機会が数多くある本学にとって、児童等への性暴力防止の推進は務めであります。本学は、同法の趣旨にのっとり、関係の事業者と連携の上、適正に対応してまいります。

このとき、同法の取組として、実習等の活動先となる学校等の事業者から実習等参加学生に、特定性犯罪前科の確認を求められる可能性もあるところ、犯罪事実が確認されれば、必修科目の授業はもとより種々の実習等を行うことはできなくなり、教育職員免許状等の資格取得や卒業・修了に影響する可能性が生じますので、これらのことについて、入学時に「同意書」を提出いただくこととしています。

【参考】「愛知教育大学における「こども性暴力防止法」に関する対応について」

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/r7kodomoseibouryoku.pdf>

問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 入試課

TEL 0566-26-2202 FAX 0566-26-2200

Mail nyushi-madoguchi@aecc.aichi-edu.ac.jp

Web サイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

※電話等によるお問い合わせは必ず志願者本人が行ってください。